

事務事業名	集合看板整備事業		所属部局	建設部	単位番号	2011-7147				
	<input type="checkbox"/> 実施計画事業		所属課室	建築住宅課	課長名	杉山 成悟				
			所属担当	建築・開発指導担当	担当者名	矢崎 幹男				
基本政策	基本計画体系	Ⅲ うるおいと利便性のある都市づくり	予算科目	会計	名称	款	項	目	細目	細々目
政策	13	都市空間の整備	01	一般	08	04	01	040	04	
施策	20	街並み景観の整備	事業区分	<input checked="" type="checkbox"/> 国の制度による義務的事業 <input type="checkbox"/> 施設等維持管理事業 <input checked="" type="checkbox"/> 県の制度による義務的事業 <input type="checkbox"/> 補助金交付事業 <input type="checkbox"/> 市の制度による義務的事業 <input type="checkbox"/> その他の事業 <input type="checkbox"/> 義務化されている協議会等の負担金						
事業期間	<input type="checkbox"/> 単年度のみ <input checked="" type="checkbox"/> 単年度繰返 (開始年度 年度) <input type="checkbox"/> 期間限定複数年度 (23 ~ 29 年度)		法令根拠	山梨県屋外広告物条例						
事務事業の概要	事業の内容・・・期間限定複数年度事業は次年度以降3年間の計画内容も記載 ・過疎地域自立促進計画に基づき、集合看板整備事業を実施する。			事業費の主な内訳 (26年度 決算見込)						
	1. 設置場所の確認を行い、地権者と協議を行う。2. 業務委託資料に基づき工事設計書の作成を行う。3. 工事発注を行う。4. 現場の監督を行う。5. 11月末までに工事を完成させる。6. 発注後は、来年度設置予定の看板について図案の作成及び翌年以降の計画の検討。河川、道路の占用等権利者との調整を図る。			項目(細節)	金額(千円)	項目(細節)	金額(千円)			
				作業員等賃金	70					
				消耗品費	86					
			印刷製本費	488						
			その他工事請負費	9,137						
					計	9,781				

1 現状把握(DO)

(1) 事務事業の目的と目標

① 活動	26年度活動内容 芦安入口看板整備 1基(新設・撤去) 文化財看板整備 3基	⇒	⑤ 活動指標(事務事業の活動量を表す指標)数字は記入しない	名称	単位
	27年度活動予定 誘導看板整備 2基 文化財看板整備 1基			ア 検討した回数	数
				イ 工事実施箇所数	数
② 対象(この事務事業は誰、何を対象にしているのか) * 人や自然資源等	芦安地区にある既存違法看板。	⇒	⑥ 対象指標(対象の大きさを表す指標)数字は記入しない	名称	単位
				ア 違法看板数	数
③ 意図(この事務事業により対象をどのような状態にしていけるのか、どのように変えるのか)	芦安地区における屋外広告物を集合的に整備した件数。 既存違法看板の撤去数。	⇒	⑦ 成果指標(対象における意図の達成度を表す指標)数字は記入しない	名称	単位
				ア 整備件数	件
				イ 撤去件数	件
④ 上位目的(どのような結果に結び付けるのか)	芦安地区の里山景観の向上	⇒	⑧ 上位成果指標(結果の達成度を表す指標)数字は記入しない	名称	単位
				ア 芦安地区を訪れた観光客の数	数

(2) 事業費・指標の推移

年間トータルコスト	事業費	財源内訳	単位	24年度	25年度	26年度	27年度	28年度	29年度	最終年度
				(決算・実績)	(決算・実績)	(決算見込・実績)	(予算・目標)	(計画・目標)	(計画・目標)	(トータルコスト・目標)
		国庫支出金	千円							
		県支出金	千円		3,300	4,500				16,000
		地方債	千円	6,500	2,700	4,100				2,600
		その他	千円	3,577	4,004	1,181	496			4,377
		一般財源	千円	23	0	0	10			17,023
		事業費計(A)	千円	10,100	10,004	9,781	506	0	0	40,000
	人件費	正規職員従事人数	人	2	2	2				8
		延べ業務時間	時間	240	240	240				960
		人件費計(B)	千円	1,092	1,092	1,092	0	0	0	4,369
		(A)+(B)	千円	11,192	11,096	10,873	506	0	0	44,369
	活動指標	ア	数	10.0	7.0					
		イ	数	3.0	7.0	7.0				16.0
		ウ								
	対象指標	ア	数	47.0						50.0
		イ								
		ウ								
	成果指標	ア	件	3.0	7.0	7.0				16.0
		イ	件	3.0		15.0				45.0
		ウ								
	上位成果指標	ア	数							
		イ								

(3) この事務事業を取り巻く状況(対象者・社会状況等)の変化、市民意見等

① この事務事業はいつ頃どんな経緯で開始されたのか?	里山の景観形成を図るために、景観を阻害している既存屋外広告物(違法看板)を撤去する。また、新たに集合看板を設置することで芦安地区の景観を向上し、芦安地区の地域振興を図る。
② 事務事業を取り巻く状況は開始時または5年前と比べてどう変化しているか? また、今後の予測は?	事業の効率化を図るため、設置箇所の再検討、看板の配置(板面の改良)の見直し等の再検討し事業費の無駄をなくす。
③ 事務事業に対して関係者(市民、事業対象者、議会等)からどんな意見・要望が寄せられているか?	現在の看板は見にくい。古いものが多い。景観を阻害している。

(4) 改革改善の取り組み状況

① 改革改善の取り組み実施は?	<input checked="" type="checkbox"/> 取り組みしている ⇒【内容!】 <input type="checkbox"/> 取り組みしていない ⇒【理由!】
② これまでの改革改善の取り組み状況・経過(取り組みしていない場合はその理由)	新設看板の設置に伴う違法看板の撤去及び既存違法看板の撤去。
③ H 26年度に実施した改革改善の内容	芦安地区の景観に配慮した案内看板の整備及び違法看板の撤去する中で、盤面や設置箇所の縮小、削減に努めた。

事務事業名	集合看板整備事業	所属部	建設部	所属課	建築住宅課
-------	----------	-----	-----	-----	-------

2 評価(Check1)担当者による事後評価(複数年度事業は途中評価)

目的 妥当性 評価	① 政策体系との整合性 この事務事業の目的は市の政策体系の施策に結びつき、貢献しているか？意図が上位目的に結びついているか？	<input type="checkbox"/> 結びついていない(見直し余地がある) ⇒【理由↓】 ⇒ 3評価(Check2)・4今後の方向性に反映 <input checked="" type="checkbox"/> 結びついている ⇒【理由↓】 魅力的なまちづくりを行う一環として、景観形成を図ることは重要である。
	② 公共関与の妥当性 この事務事業を税金を投入して市が行わなければならないのか？ 民間やNPO、市民協働に移行することは可能か？	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある ⇒【理由↓】 ⇒ 3評価(Check2)・4今後の方向性に反映 <input checked="" type="checkbox"/> 妥当である ⇒【理由↓】 公共看板と民間看板を集合看板として整備し、合わせて違法看板の撤去を行うものであり公共性は妥当ある。 事務事業の全部もしくは一部を外部に移行することが可能である。 <input type="checkbox"/> 民間・NPO <input type="checkbox"/> 市民協働
	③ 維持・継続の妥当性 現状の対象と意図、成果から考えて、この事務事業を将来にわたり、維持・継続していくことは妥当か？目的や事業の必要性を見直す余地はあるか？	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある ⇒【理由↓】 ⇒ 3評価(Check2)・4今後の方向性に反映 <input checked="" type="checkbox"/> 適切である ⇒【理由↓】 芦安地区ガイドプランに基づき、計画的に進めており、設置する際に精査し不要な場所は廃止をしている。地区全体のサイン計画であり、相対的な整備が必要のため継続し進めて行く。現状では見直しの余地はない。
有効性 評価	④ 成果の向上余地 今後、工夫や努力をすることで、事務事業の目的に向けて現状よりも成果を向上させることはできるか？できない場合は何が原因でできないのか？	<input type="checkbox"/> かなり向上余地がある ⇒【理由↓】 ⇒ 3評価(Check2)・4今後の方向性に反映 <input checked="" type="checkbox"/> ある程度向上余地がある ⇒【理由↓】 ⇒ 3評価(Check2)・4今後の方向性に反映 <input type="checkbox"/> 向上余地がない ⇒【理由↓】 景観を阻害している違法看板は徐々に撤去され、旅館組合との集合看板が整備され、成果は向上している。
	⑤ 類似事業との統合・連携の可能性 類似した目的を持つ事務事業が他にあるか？類似事務事業がある場合、その事務事業との統合や連携を図ることはできるか？	<input type="checkbox"/> 類似事務事業がある ⇒(類似する事務事業の名称を記入↓) <input type="checkbox"/> 統合・連携ができる ⇒【理由と具体案↓】 ⇒ 3評価(Check2)・4今後の方向性に反映 <input type="checkbox"/> 統合・連携ができない ⇒【理由↓】 <input checked="" type="checkbox"/> 類似事務事業がない
	⑥ 休止・廃止した時の影響及び休止・廃止の可能性 この事務事業を休止・廃止した場合影響はあるか？また成果から考えて、休止・廃止することはできるか？	<input type="checkbox"/> 影響なし <input checked="" type="checkbox"/> 影響あり ⇒【理由と影響の内容↓】 地区全域の整備され景観形成が図れるもので、現状での休止、廃止は困難である。 <input type="checkbox"/> 休止・廃止ができる <input checked="" type="checkbox"/> 休止・廃止できない ⇒【理由↓】 地区を総体的に整備できるまでは終了できない。整備済み看板と未整備の看板が混在しては景観形成にならない。
効率性 評価	⑦ 事業費の削減余地 成果を下げずに事業費(コスト)を削減できないか？(仕様や工法の適正化、住民の協力など)	<input type="checkbox"/> 削減余地がある ⇒【理由・具体案↓】 ⇒ 3評価(Check2)・4今後の方向性に反映 <input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない ⇒【理由↓】 盤面の縮小化、設置箇所の削減、既存看板の修正(塗替え)等、景観に配慮しながら経費の節減を図る。
	⑧ 人件費の削減余地 成果を下げずに人件費を削減できないか？(事業のやり方の見直しによる業務時間の削減や臨時職員対応や外部委託による削減はできるか？)	<input type="checkbox"/> 削減余地がある ⇒【理由・具体案↓】 ⇒ 3評価(Check2)・4今後の方向性に反映 <input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない ⇒【理由↓】 この事業については職員が兼務で行っており、現状では削減の余地は無い。
公平性 評価	⑨ 受益機会・受益者負担の適正化余地 事務事業の内容が一部の受益者に偏っていないか？受益者負担を見直す必要はないか？公平公正か？	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある ⇒【理由・具体案↓】 ⇒ 3評価(Check2)・4今後の方向性に反映 <input checked="" type="checkbox"/> 公平・公正である ⇒【理由↓】 景観に配慮した集合看板の設置であり看板の乱立を抑制するため、旅館名等の表示もされている。受益者には、一定の負担金を課している。

3 評価(Check2)担当課管理者による評価結果と総括

(1) 1次評価者としての評価結果	(2) 1次評価の総括(事務事業を実施した結果を振り返り気づいたこと、課題、今後の方向性等について)
① 目的妥当性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり ② 有効性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり ③ 効率性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり ④ 公平性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり	概ね、平成22年度に計画したガイドプランのとおり整備が図れている。コスト面でも盤面や設置場所、既存看板の利用など、設置する際に精査し、節減に取り組んでいる。 平成27年度、28年度には、県道甲斐・芦安線の古屋敷橋架け替え工事に伴い、看板設置事業を休止し、平成29年度を最終年度と考えている。

4 今後の方向性(事務事業担当課案)(PLAN)

(1) 今後の事務事業の方向性(Check1の結果から定める)・・・複数選択可	(3) 改革・改善による方向性																					
<input type="checkbox"/> 廃止(目的妥当性①、②、③の結果) <input type="checkbox"/> 事業統合・連携(有効性⑤の結果) <input checked="" type="checkbox"/> 公平性改善(公平性⑨の結果) <input type="checkbox"/> 休止(目的妥当性①、②、③の結果) <input checked="" type="checkbox"/> 成果向上(有効性④の結果) <input type="checkbox"/> 現状維持(全評価項目で適切) <input type="checkbox"/> 必要性検討(目的妥当性①、②、③の結果) <input type="checkbox"/> コスト削減(効率性⑦、⑧の結果) <input type="checkbox"/> 終了	<table border="1"> <tr> <td colspan="2" rowspan="2"></td> <th colspan="3">コスト水準</th> </tr> <tr> <th>削減</th> <th>維持</th> <th>増加</th> </tr> <tr> <th rowspan="3">成果水準</th> <th>向上</th> <td><input type="checkbox"/></td> <td><input checked="" type="checkbox"/></td> <td><input type="checkbox"/></td> </tr> <tr> <th>維持</th> <td><input type="checkbox"/></td> <td><input type="checkbox"/></td> <td><input type="checkbox"/></td> </tr> <tr> <th>低下</th> <td><input type="checkbox"/></td> <td><input type="checkbox"/></td> <td><input type="checkbox"/></td> </tr> </table> <p>※ 廃止・休止の場合は記入不要</p>			コスト水準			削減	維持	増加	成果水準	向上	<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	維持	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	低下	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
				コスト水準																		
		削減	維持	増加																		
成果水準	向上	<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>																		
	維持	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>																		
	低下	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>																		
(2) 改革改善案について 今後も引き続き計画に沿って整備を図って行くが、コスト面でも削減を図れるよう進めて行く。																						
(4) 改革改善を実現する上で解決すべき課題とその解決策 同上。	(5) 事務事業優先度評価結果 平成26年度																					
	成果優先度評価結果 ⑧																					
	コスト削減優先度評価結果 ⑥																					